

野川台自治会

あいさつ運動の輪

発行：野川台自治会
 発行者：野川台自治会長
 川崎市宮前区！
 TEL.
 協力：西野川小・野川中PTA、おやじの会
 一葉会、すずの会、青少年指導員ほか
 編集：福祉の風土づくりを進める会事務局



家庭・学校・地域のさらなる連携をめざして



あいさつ運動を始めてから 8 年目、子どもたちの思いに応じて「あいさつの輪」、
 さりげない「お節介の輪」の拡がりを通じて、信頼と支え合う“絆”づくりを皆さんの手で！

あいさつは 心をひらく ストレッチ

西野川小学校 教務主任 立元 裕樹

昨年 4 月に西野川小学校に着任しました。学級担任ではなく、職員室にすることが多いので、着任したばかりの私は子どもたちにとっては「謎の人物」です。それにもかかわらず、「おはようございます!」「こんにちは!」「先生は何の先生ですか?」など、たくさんのあたたかいあいさつを返してもらい、心がほっとしたことを覚えています。子どもたちが素直で、誰に対しても心がひらいているということに感動しました。

野川地区は、地域・保護者・学校が一体になって「あいさつ運動」を行っています。運動する際、筋肉をほぐすストレッチを行うと体がよく動くのと同じように、気持ちよくあいさつできる環境が整っているからこそ、子どもたちは心が自然にひらけるのだと実感しました。

これからも、この素晴らしい「あいさつ運動」の輪を広げていくために、まずは自分自身が元気にあいさつをしたいと思います。



「まずは大人が・・・」

野川中学校 教頭 高城 英一

以前、私がサッカー部の顧問をしていた頃、新しい学校に転勤したばかりのある先生が、試合会場に着くなり生徒と走って移動し、他校のいる所に行き一緒にあいさつをしていて驚いたことがあります。事情を聞くと「今度の学校はいろいろあるので、まず、あいさつがしつかりできるようにしたい。技術面はこれができてから」とのこと。この先生には、それまでも相手の正面に回り込み、しっかりあいさつをする人だなという印象をもっていました。同世代の私にとって、まさに見習うべき出来事でした。

普段何気なく交わしているあいさつですが、人柄が表れたり、他人とのコミュニケーションづくりの「きっかけ」を作るのもあいさつではないでしょうか。

家庭・地域・学校等において、大人が顔と名前のわかる関係でいること、自然なあいさつを交わすことは、子どもたちにとって、最も大切なことであると思います。



どんど焼き (1月10日 西野川小学校おやじの会)

挨拶は コミュニケーションの基本

宮前区役所こども支援室 室長 青山 正彦

市役所においても、仕事の連絡事項はほとんどメールということが多いためか、職種・職場によっては人と言葉を交わす機会は朝と帰りの挨拶くらいという職員も少なくないと聞きます。メールは確かに便利で、電話のように相手の都合に突然割り込むこともなく、情報を相手に伝えるという意味では、非常に便利なツールではありますが、相談事や重要事項は文字では表現し辛かったりと、コミュニケーションが伴わないと質的には十分ではありません。そして、そのコミュニケーションを円滑に進めるために不可欠なのが、やはり「挨拶」。挨拶抜きにして連携や繋がりは始まりませんし、深まりもしません。報告するにも、連絡するにも、相談するにも、挨拶のない関係性でのコミュニケーションの成立は大変困難だと思います。人間関係も豊かに醸成するあいさつ運動の輪が、人と人との大切な潤滑油として、これからも、家庭・学校・地域で大きく拡がることを、心より願っております。



支え合う地域コミュニティへの期待

—— あいさつは、気づき、見守りのはじめ ——



宮前警察署・区役所と合同パトロール実施

“あいさつの飛び交う街に犯罪なし”これは宮前警察署の広報紙「みやまえ警察・かわら版」のキャッチフレーズです。

昨年10月、「神奈川県安全・安心まちづくり旬間」に宮前警察署、区役所の指導の基に、西野川小学校や野川中学校の先生と保護者、こども文化センター等総勢32名の方が、2班に分かれて、青色回転灯車と一緒に区域内を1時間かけてパトロールをしました。

泥棒が犯行をあきらめるのは！

一緒にパトロールをして下さった巡査部長の笹村さんから「泥棒が犯行を諦める理由の第一位に“近所の人に見られたり、声を掛けられたりすること”を挙げ、また泥棒の多くは、下見をしているので声かけは効果絶大ですよ！」という話を伺いました。

犯罪の温床にならない綺麗な街づくり

公園などの周囲から死角になっている所や街灯の少ない暗い所は、犯罪の危険性が高いところと言われています。自治会では、皆さんや公園管理運営協議会と一緒に、公園の樹木の剪定や草刈り、花壇づくり、ゴミ置き場の美化、放置自転車の撤去、さらにはこの数年明るい夜道にするため積極的に防犯灯のLED化、増設などを進めておりますが、これからも「割れ窓理論」の言う犯罪の温床にならないよう手を抜かない綺麗な街づくりに努めていきたいと思ひます。



公園のお花のお手伝い



青色回転灯車とパトロール

あいさつ運動・防犯パトロール参加のご案内

子どもの健やかな成長や犯罪の防止等のため下記のボランティア活動をしております。皆さまの参加をお待ちしております。

- 1 「朝のあいさつ運動」(毎月第1、第3火曜日)
西野川小学校正門 AM 8:00~8:30
- 2 「パトロールを通じたあいさつ兼防犯活動」
 - ① 小学校班 (毎月第2水曜日、区域内パトロール)
西野川小学校正門集合 PM 1:00~2:00
 - ② 中学校班 (毎月第3木曜日、区域内パトロール)
野川中学校正門前集合 PM 3:30~4:30
- 3 「夜間パトロール」(毎月第3土曜日)
野川第1公園集合 PM 7:00~8:00

「問い合わせ先」

社会を明るくする運動で表彰

西野川小学校・野川中学校

「社会を明るくする運動」宮前地区推進委員会は、毎年よい行いをした青少年に表彰をしています。

今年度の受賞者のひとつに、「あいさつ運動」の標語づくりを全クラスに呼掛け、その作品を野川台自治会に提案し、シール化につなげた西野川小学校児童会運営委員会、もうひとつは、野川地域の地域清掃活動を野川中学校区地域教育会議と連携して推進した野川中学校生徒会(P3参照)で、2月5日表彰されました。おめでとうございます。これからもよろしくお願いします。



運営委員会のメンバー



生徒会の代表

ふるさと散歩 2

あなたの身近に貴重な遺跡 「橘樹官衙遺跡群」市内初の国指定遺跡へ

影向寺住職 加藤 浩照

大化の改新645年、歴史の勉強をする時に最初に覚える年号ですね。大化の改新から始まった改革で、日本には国と呼ばれる地域がいくつもできました。国にはいくつかの郡があり、このあたりは武蔵国橘樹郡(むさしのくにたちばなぐん)と呼ばれていました。

その中心で役所のような働きをした所を、郡衙(ぐんが)と言います。近年の発掘調査で、その郡衙の遺跡が千年と野川の堺から発見されました。この春、その遺跡と周辺地域が国の史跡指定を受けることになりました。橘樹郡の範囲は、ほぼ現在の川崎市と重なるそうです。その中心となる郡衙が現在私たちが暮らすこの地域に存在していたことは、古代川崎の中心がこの地だったとも言え、それは私たちにとってとても得難いめぐり合せです。こんなに身近に貴重な遺跡があるのならそれを守り、また後世に伝えてゆくことが、今をこの地に生きる私たちの役目なのかもしれません。

これを機に、遺跡群を構成する影向寺をはじめ、橘の地に残る多くの遺跡・史跡を尋ねてみませんか。

周辺地域の文化財のひとつ



影向寺



木造薬師如来両脇侍像



ひとことで みんなの顔に 花がさく

—— 人と人との心をつなぐ ——



あいさつの大切さ

西野川小学校 6年生

私は、あまり人と話すことが好きではないのですが、あいさつ運動があったおかげで他学年や地域の方と関わりをもてたと思います。小学校を卒業してもあいさつを忘れないようにしていきたいです。(佐々木 遥)

私は、日頃、笑顔であいさつしたら、相手も嬉しい気持ちになるということを考えています。それを一部の人だけにするのではなく、たくさんの人にできるように笑顔であいさつしていきたいです。(東 野々香)

私は、あいさつをすることで、あまり話さない友達とでも仲良く話せるきっかけになると 생각합니다。あいさつは、普段の生活の中で絶対に必要なものだと思うので、家でも学校でも心のこもったあいさつをしようと思います。(望月 小陽)



朝のあいさつ運動

“みんなで震災に備えよう”

11月8日(土)西野川小学校で地域の防災訓練が行われました。おやじの会、宮前消防署、野川分団、野川台自治会の協働で、昨年より多い150名が参加しました。グループで、一時(いっとき)避難所から学校までの避難経路を確認しながら歩き、その後宮前消防署の担架作り、野川分団の方からの消防車の説明や小学生からの質問に答えていただきました。おやじの会のみなさんは、ロープワークや、アルファ米の炊き出し、AEDを使った救命訓練を行いました。“みんなで震災に備えよう”ということは、まず地域のつながりを作っていくことから始まります。小学校、中学校、地域のつながりを日頃から大切にしましょう。



豆消防士!



AED訓練

スタートとゴールのキーワード

生徒会本部 2年 米村 彪伽

「おはよう」から始まり、「おやすみ」で終わる一日。

これは、とてもすごいことだと思います。もし、スタートがなければゴールもありません。それだと、一日がうまくいかないと思います。「あいさつ」それは、人を思いやり、一日の中で充実にするためのキーワードなのです。コミュニケーションをとるためにも必要ですし、お互いの気持ちを共有することもあると考えます。

野川中学校でも、このようなことを意識しながら挨拶運動をしています。ぜひ、みなさんも挨拶運動に参加して下さい。

新しい絆づくりにチャレンジ!

生徒会と地域との清掃活動を通じて

一昨年のトンネル清掃に引き続き、昨年11月、野川中学校の生徒会と野川中学校区地域教育会議が、タイアップして、宮前消防署の野川出張所の前の道路(権六坂)の清掃に挑戦!

90名近くの生徒と地域の人約60名が一緒に汗をながしながら、ゴミや落ち葉集めをしている光景は、通る人や車の注目を浴びていました。阪神淡路や東日本大震災の教訓として、隣近所との繋がり大切さが叫ばれて久しいですが、こうした清掃活動は、地域レベルでの具体的な絆づくりそのもので、画期的と受け止めています。そんなユニークな活動について、中学生から、「今回も、たくさんの地域の皆さんと生徒と一緒に地域清掃に取り組むことができました。そして地域の方々との交流とともに、この野川のまちをキレイにできたことを嬉しく思います。これからも、地域との関わりを深くし、さまざまな活動に力を入れて行きたいと思いました。」という声が寄せられました。

(地域教育会議: 野川地域の小中学校の先生・PTA、自治会・町内会、地区社協、民生委員、保護司、青少年指導員等で構成)



今日の段どりは!



落葉集め!

学校と地域のつながり

学校・地域のイベントや児童・生徒の活躍は地域の誇り

(文責は編集事務局)

わあ！コマが回った！ —むかし遊び体験—

11月6日、西野川小学校で“むかし遊び体験学習”が行われました。地域のみなさん17名が参加して、一年生75名とはねつきやコマ回し、メンコや折り紙、けん玉など一緒に遊びました。コマ回しのコツを教えてもらい、回せるようになると歓声があがりました。普段やらない遊びにみんな熱中して、楽しい時間が過ぎました。お昼には、ハヤシライスの給食を一緒にいただきました。地域のみなさんにもとてもすてきな体験学習になりました。



全員集合だよ！



楽しいけん玉！

(担任は黒谷、矢作、後藤の各先生)

演劇部 県大会三位の栄誉！

「舞台は、戦争の足音が近づく昭和11年、子どもたちは、夏休みの思い出づくりに森に肝試しに出かけました。突然9年後の未来の昭和20年に戦争



なんとか平和な未来を！

で死んでいった子が、妖怪という姿、傘化け、カシャボなどの姿で子ども達の前に現れる…。そんな中で、劇全体を通じて「未来には、悲惨な戦争が起きる！なんとか未来を変えられないものか」と訴えるというユニークな作品（「夏休み」）を、音響、照明担当を含めて25名の部員が一致して演じ、多くの聴衆に深い感銘を与え、県大会第三位という輝かしい栄誉に浴しました。そうした努力の陰には、夏休みからの本格的な本読み稽古に加え、昭和20年代の子どもの服装を文献で調べたりするなど役作りに没頭していたことなどが挙げられます。

(顧問は、伊豆、小西の各先生)

女子ソフトボール部 “市大会五位”

毎朝、7時半になると、学校の周りを清掃しているジャージ姿の中学生と地域の人のあいさつを交わすさわやかな光景が見られます。それが女子ソフトボール

部員の一日の始まりです。

部員のほとんどが、中学に入学して初めてクラブをはめる言わば素人グループとのこと。そのため「笑顔と声」をモットーに、一人ひとりがチームワークを大切にし、短い練習時間に工夫を凝らしています。その努力が実り秋の市大会では、今まで初戦の域を抜け出せなかったのが、3回戦まで進み、38校中五位の成績を残し、自信を深めています。これからも勝つことはもとより、引き続き地域清掃に参加するなど地域から愛され、応援されるチームづくりを心掛けていきたいとのことです。



チームワーク！

(顧問は、太島、松原の各先生)

相撲部、ライバル富士見中を制し、市総体優勝

相撲部は、市総体の団体戦に第二シード校として参加、3回戦まで順当に勝ち進み、優勝決定戦でライバル富士見中学と対戦、お互いに先鋒、中堅で決着



勝者の笑顔！

がつかず、大将同士の決定戦にもち込まれ、野川中は豪快な上手投げで相手を土俵に這わせ優勝を飾りました。

野川中は、前回も、前々回も富士見中に苦敗していることから、打倒富士見中を掲げ、大会の二カ月前から一人ひとりがみっちり「押し」、「すり足」の練習を徹底的に行い、モチベーションを最高レベルで維持し試合に臨んだ結果と言えます。そういう状態にもっていけるのは、やはり生徒の日々の団結力がものをいうのだということが伺えました。

(顧問の先生、五十嵐、菊池各先生)

編集後記



平成26年7月、川崎市制90周年記念式典において、野川台自治会は、あいさつ運動をはじめとする諸活動の功績が顕著であるとの奨励賞を頂きました。これも諸先輩や会員さらには小・中学校等関係団体のご理解とご協力の賜物と深く感謝申し上げますとともに今後ともよろしくお願い致します。高齢者の急増、支える世代の減少、厳しい財政難の三重苦と言えなから、地域・近隣の時代にふさわしい絆づくりを挨拶等を通じて今後も皆さんと一緒に模索していきたいと思っております。

(日高、原、山本、後藤、辻本、岩本、前之園)